

鹿児島大学が鹿児島県と県酒造組合連合会から五年間で五億円の資金を受け、四月開設した焼酎学講座。業界や県に資金提供を要請し鹿大に講座設置を求めたのが、九州内の産学官連携を取りまとめる文部科学省産学官連携広域コーディネーター、砂田向志氏（左）。「焼酎学講座を契機に鹿大の改革に拍車がかかるのを期待する」と話す砂田氏に、講座設立の真意を聞いた。

## 砂田向志・文科省産学官連携広域コーディネーターに聞く

「なぜ鹿大に焼酎学講座を設立しようと思ったのか。」

「まず、広告代理店からの施設を生かしては、と提案

した」

行政や焼酎業界、鹿大の反応は。

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だ

た大学で学問的位置づけが明確になれば品質向上や技術革新に追随でき、優秀な人材の交流が生まれるメリットもある」

「まず、広告代理店からの

## 大学改革へ県、業界連携

# 人材育成のモデルに

『焼酎の専門学校をつくりたい。全国的ブームでメーカーが得た資金を、地元で人材育成に使えないか』という相談から始まった。だが学校をつくるには文科省の許可が必要で資金も膨大。相当の覚悟が必要だから、地元国立大

「鹿児島県は趣旨をよく理解してくれた。焼酎という鹿児島を代表する伝統産業文化を、持続的に発展させるチャンスと感じたからだろう。ま

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」

「鹿大は『ずっとつくりか」と思っていた』と言った。だが醸造科学などの講座も、専門知識を持った教員もなかった。焼酎は特に地元と密接にかかわる分野だが、なぜ学科

「五億円は五年間で拠出する上限額。業界や県は人材育成に投資するのだから、鹿大に積極的に発言し、厳しく評価もするだろう。当然、鹿大は資金使途などを含め成果を公開する義務がある。理想を言えば、投資側が資金を一括管理する中間法人などを設けるのが望ましい」

「多くの地方大は、何が勉強でき、どんな資格が取れるかを盛んにPRしているが、何のために地域に大学が存在するのかほとんど語っていない。これは大学と地域自治体の連携、きずなが薄いこととの表れだ。学生も高度な理論は学んでも、産学官連携を知る機会ほとんどない」



砂田向志氏